

# 総務部 マネジメント方針

総務部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定め  
ました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和5年4月1日

総務部長  
齊藤 正直



## 【基本方針】

いよいよ間近に迫った北陸新幹線福井開業という 100 年に一度の好機を最大限に活かすため、首都圏等へのプロモーション活動をより一層強化するほか、市民に対しても「ふくい」の魅力を積極的に発信するなど、市を挙げて更なる機運の醸成を図っていきます。

また、人口減少に立ち向かうため、U・I ターンを含め福井への新しい人の流れの創出・拡大を図るとともに、地域の特色を生かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域づくりを推進します。

さらに、一人ひとりの人権が尊重されるとともに、女性がいきいきと暮らせる社会を推進し、それぞれの個性や能力を発揮しながら活躍できるまちを目指します。

加えて、本市を取り巻く様々な環境の変化や社会経済情勢を的確に捉え、「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革や行政サービスの見直しを進めるとともに、「ふくい 嶺北連携中枢都市圏」の中心都市として、活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を推進します。

## 【組織目標】

- I. 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます
- II. 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます
- III. 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます
- IV. 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します
- V. 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します
- VI. 東京事務所を拠点に、市政に関する情報収集、首都圏での本市の観光や食、住みよさ等の情報発信による観光誘客やU・Iターン等を積極的に推進します

### <未来づくり推進局担当>

- VII. (I) 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます
- VIII. (II) 地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます
- IX. (III) 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組みます
- X. (IV) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

## 【行動目標】

組織目標 I 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>1 行財政改革の更なる推進</b> 「福井市行財政改革指針（令和 4～8 年度）」に掲げる取組の適切な進行管理及び効果的な推進を図ります。</p> <div data-bbox="252 555 1225 663" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>「福井市行財政改革指針（令和 4～8 年度）」に掲げた数値目標の達成度（※） ： 90%以上</p></div> <p>※ 全 36 の取組のうち、目標を達成した取組の割合 （目標達成の評価指標である「快晴」又は「晴れ」とした取組数／全取組数）</p> <div data-bbox="360 831 1126 1352" style="text-align: center;"></div> <p>行政改革推進委員会の様子</p>	<p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p> 

## 2 職員の人材育成

時代の変化に対応できるよう、効果的に政策立案を進めるため、政策形成スキルの向上を図ります。また、北陸新幹線福井開業を控え、連携中枢都市圏の圏域市町職員の資質向上と連携推進を目的に職員合同研修を強化します。行政のデジタル化を着実に進めるため、研修専門機関への派遣を強化します。

連携中枢都市圏市町の職員合同による研修の実施 3回※  
デジタル化に関する研修専門機関への派遣 4人  
※政策形成研修を含む



合同研修の様子①

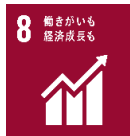


合同研修の様子②

## 3 適正な定員管理の推進

今後の行政需要の変化やDXの推進を踏まえた効率的な組織・職員体制の構築をはじめ、定年引上げを考慮した計画的な職員採用等によって、適正な定員管理を推進します。

新たな定員管理計画の策定



#### 4 文書決裁の電子化の推進 **DX**

文書事務の電子決裁の推進、押印省略の推進、文書の取扱い基準の見直し等により、文書事務の電子化、効率化及びペーパーレス化を促し、行政事務の電子化の推進を図ります。

電子決裁については、説明会や研修等あらゆる機会を通じて周知・徹底し、電子決裁比率を大幅に伸ばします。

公文書の電子決裁比率(※) : 18.2% (4年度) → 75.0% (5年度)

※ 公文書の電子決裁比率

電子決裁及び電子供覧件数／文書管理システムを利用した決裁及び供覧件数  
(電子化によって業務が非効率となる場合等を除く)

〈4年度実績〉

5,245 件 / 28,870 件 = 18.2%

〈5年度目標 (決裁件数は見込値)〉

30,000 件 / 40,000 件 = 75.0%



電子決裁による効率化のイメージ

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



## 5 ⑤ 効果的な施策展開のための新たな手法の導入

チャレンジみらい予算(※1)の制度を活用し、若手職員の斬新なアイデアに基づく新たな施策の検討・導入を行います。

また、住民サービスの更なる向上や行政運営の効率化を進めるため、近年新たに注目されているナッジ(※2)を取り入れたモデル事業を実施します。

施策提案に向けて取り組んだ若手職員数	:	60人以上
ナッジを取り入れて改善を図った事務の件数	:	2件

### ※1 チャレンジみらい予算

若手職員が、新しい価値観に基づき自発的に施策立案し、予算要求を経て事業化することで、職員の政策形成能力の向上を図るとともに、市民生活の向上や地域経済の活性化に繋げる取組



チャレンジみらい予算 市長への提案時の様子

### ※2 ナッジ

行動科学の知見の活用により、人々が自分や社会にとってより良い選択を自発的にとれるように手助けする政策手法



組織目標Ⅱ 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携  
 中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます

行動目標

SDGs 指標

6 連携中枢都市圏の推進

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン（※）に掲げる取組を推進するため、有識者で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会の意見等をふまえながら、適切な進捗管理を行います。

また、圏域の更なる発展につなげるため、第2期「ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン」（令和6年度～）を策定します。



第2期「ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン」の策定

※ 連携中枢都市圏の中長期的な将来像や具体的取組、成果指標などを定めるもの



連携中枢都市圏ビジョン懇談会の様子



各市町と連携した取組例

【特産品販路開拓・拡大】物産展（マルイシティ横浜）

組織目標Ⅲ 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます

行動目標

SDGs 指標

7 地方分権の推進

個性を活かし自立したまちづくりのため、権限移譲や規制緩和について国に提案を行う提案募集制度を活用し、積極的に地方分権の推進を図ります。



提案募集方式による提案 : 4件



提案実現までの流れ（内閣府HPより）本市提案の事例）



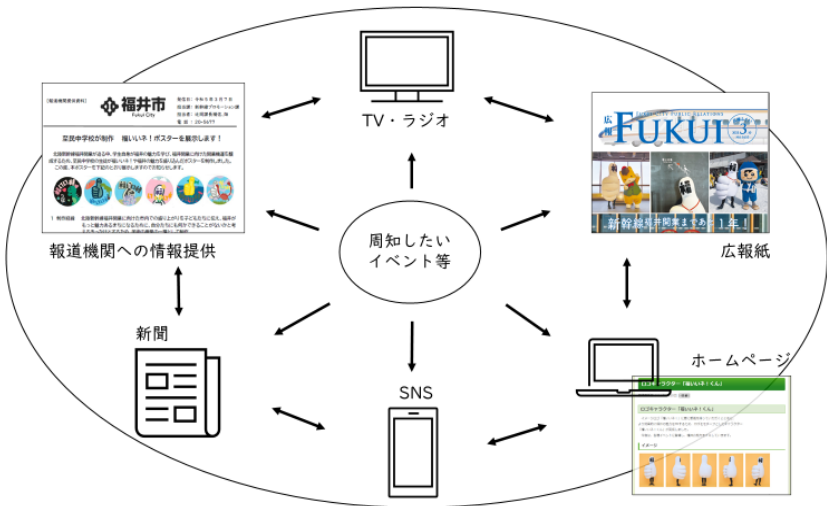

国の提案募集検討専門部会の様子



組織目標Ⅳ 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します

行動目標	SDGs 指標
<p><b>8 人権尊重意識の啓発</b></p> <p>一人ひとりの多様性や人権が尊重され、誰もが活躍できる地域社会の実現に向け、市政広報やホームページによる啓発に加え、人権擁護委員による相談、国、県、人権擁護委員等と連携したイベント等の実施により、人権尊重意識の涵養や知識の向上を図ります。</p> <div data-bbox="244 638 1270 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総 19 「人権教育・啓発推進計画」※に基づき実施した本市主催事業の実施件数 ： 20件（5年度）</p> </div> <p>※ 人権教育・啓発推進計画 多様性の理解など、人権が尊重される社会の実現を図ることを目的として、毎年、県と市町それぞれに作成する事業計画。</p> <div data-bbox="233 954 708 1308">  </div> <p>学生向け人権ワークショップの様子</p> <div data-bbox="762 954 1240 1308">  </div> <p>グローバルフェスタ(多文化祭)の様子</p> <div data-bbox="233 1391 708 1744">  </div> <p>「人権の花運動※」植栽の様子</p> <p>※ 人権の花運動 小学生を対象とした啓発運動で、花の種子、球根などを、子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的とする。</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 

**組織目標Ⅴ 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します**

行動目標	SDGs 指標
<p><b>9 分かりやすい伝わる情報の発信</b></p> <p>北陸新幹線福井開業を間近に控え、市政情報のみならず、本市の魅力を市内外に広く効果的に発信するため、広報紙、ホームページ、SNS、テレビ、ラジオ、報道機関への情報提供などを複合的に活用します。</p> <p>特にホームページについては、更新時期に合わせた見直しを行い、利用者にとって「見やすい」「分かりやすい」「たどり着きやすい」ホームページを目指します。</p> <p>また、情報を発信する職員の広報力の向上を図るとともに、近年利用者の増加が著しいYouTube 動画を活用し、表現が堅くなりがちな行政情報を職員自ら親しみやすく発信します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>クロスメディア件数（※1）       ：</p> <p style="text-align: center;">1,820 件（4 年度）→ 2,100 件（5 年度）（※2）</p> <p>職員による YouTube 動画の発信本数       ： 20 本（5 年度）</p> </div> <p>※1 クロスメディア 一つの情報を複数の広報媒体を使って発信することで、媒体間の相乗効果を高め、相互に補完し合いながら、広く情報を提供する手段（広報紙、テレビ、ラジオ、ホームページ、各種SNS、報道機関への情報提供など）</p> <p>※2 件数 「広報ふくい」に掲載、又は、報道機関への情報提供により報道された記事について、ホームページ、SNSなど他の広報媒体と連動して周知した件数</p> <p>【参考：クロスメディアのイメージ】</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 

**組織目標VI 東京事務所を拠点に、市政に関する情報収集、首都圏での本市の観光や食、住みよさ等の情報発信による観光誘客やU・Iターン等を積極的に推進します**

行動目標	SDGs 指標
<p><b>10 ふくいの魅力を首都圏へ発信</b></p> <p>来年春に迎える北陸新幹線福井開業に向け、首都圏における本市のシティプロモーション活動の拠点として、嶺北連携中枢都市圏の他市町や県、関係団体等との連携をこれまで以上に強化し、本市の認知度及びイメージの向上や観光誘客等に全力で取り組みます。</p> <p>また、「福井市応援隊(※1)」の会員を対象にしたイベントなどの取組を通してさらに本市のファンを増やし、本市の関係人口増加につなげます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「福井市応援隊」会員数            : 900人(4年度) → 1000人(5年度)</p> <p>全国メディア発信(※2)回数            : 35回(4年度) → 45回(5年度)</p> <p>シティプロモーション関連イベントの実施            : 30回(4年度) → 40回(5年度)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ラ・ピスタ新橋での物産展</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>福井市応援隊ミーティング (総会)</p> </div> </div> <p>※1 福井市応援隊            首都圏を中心に、福井市にゆかりや関心のある人で構成された組織</p> <p>※2 全国メディア発信            日本全国に配信する新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット等の情報媒体に、東京事務所が関わり報道された福井市関連掲載記事</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>8 働きがいの 経済成長</p> </div> <div>  <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>

組織目標Ⅶ（Ⅰ） 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます

行動目標

SDGs 指標

1.1 人口の対流創出と人材還流の促進

本市とつながりのある都市部等の人材同士が交流する機会を創出し、本市での関わりしる活躍の場を広げていくことで、関係人口の深化を図ります。

また、全国トップクラスを誇る子どもの学力、待機児童ゼロなど快適な子育て環境のほか、海にも山にも近い立地条件、歴史、豊かな食といった本市の魅力や暮らしやすさを強力に発信するなど、U・Iターン者の増加を目指します。



- ① 15 関係人口創出事業に関わる市外の人数(※1)  
: 44人(4年度) → 50人(5年度)
- ② 16 本市へのU・Iターン者数(※2)  
: 428人(4年度) → 470人(5年度)

※1 関係人口創出事業に関わる市外の人数

本市の各事業に関係人口として関わったことを契機として、地域づくりや地域経済の発展などに、地域とともに取り組む市外の人数

※2 本市へのU・Iターン者数

市や県の支援制度等を活用して本市にU・Iターンした人数



関係人口創出事業の様子



移住相談の様子



## 12 ふるさと納税の推進

ふるさと納税制度の本来の趣旨を踏まえ、返礼品の充実を図るなど、本市の魅力的な地場産品を全国に情報発信し、継続的な応援はもちろん、新たな寄附者を獲得することで、本市のファンの増加を目指します。

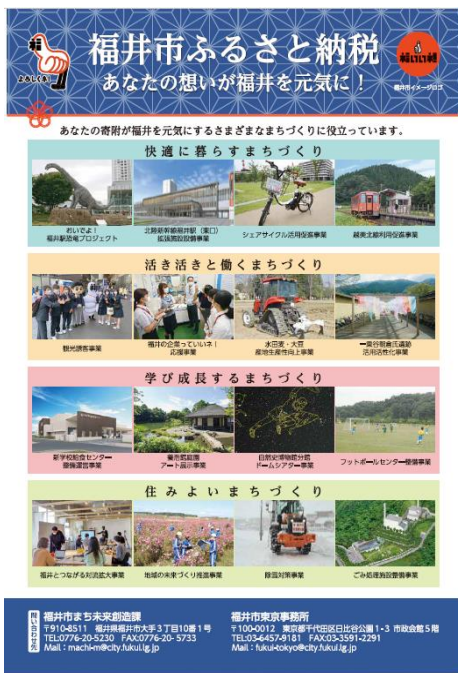
また、北陸新幹線福井開業を寄附拡大の契機と捉え、東京事務所等と連携した首都圏におけるPR活動など、ふるさと納税の更なる普及拡大に取り組めます。

併せて、企業版ふるさと納税制度を周知し、本市の地方創生の取組に関心を持つ企業からの寄附に繋げていきます。

ふるさと納税寄附者数：10,664人(4年度) → 34,000人(5年度)

ふるさと納税寄附額

：3億4,564万円(4年度) → 7億5,000万円(5年度)



ふるさと納税パンフレット



返礼品の例





**組織目標Ⅷ(Ⅱ) 地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます**

**行動目標**

**SDGs 指標**

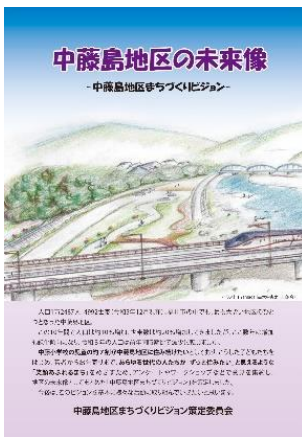
**1.3 地区ビジョンの実現につながるまちづくり活動の推進**

各地区のまちづくり組織が、自ら地域の未来を考え、その実現に向けて取り組むまちづくり活動を支援するとともに、配置した地域担当職員が活動のサポートを行うなど、地域と市の協働によって課題解決や活性化を進めていくことで「持続可能で活気あふれるまち」を目指します。

さらに、地区の「地域未来づくりビジョン」策定に向けた取組を支援するとともに、ふるさと納税を活用したクラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）を通じた資金調達を支援することで、まちづくり活動を推進していきます。

地域未来づくりビジョン策定地区数（累計）：

30 地区（4 年度）→35 地区（5 年度）



中藤島地区まちづくりビジョン



中藤島地区まちづくりビジョン策定のためのワークショップの様子



**1.4 持続可能な地域コミュニティ機能の保持、活性化 DX**

地域コミュニティ活動の主体である自治会の機能保持や活性化を図るため、未加入世帯に向けた加入啓発を自治会連合会と協働で取り組むとともに、自治会のDXなどによる負担軽減、合併（グループ化）の推進などに取り組まします。

また、中山間地域には、地域集落支援員や特定集落支援員を配置し、コミュニティの状況把握を行い、機能保持や活性化の支援により、集落の存続に努めます。




⑮ 18 自治会加入世帯数 : 78,033 世帯（4 年度）→78,400 世帯（5 年度）



組織目標Ⅸ（Ⅲ） 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組みます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>15 首都圏等に向けての戦略的な情報発信の推進</b></p> <p>北陸新幹線福井開業時に最大の効果が出るよう、首都圏等へ積極的に情報発信を行い、本市の認知度向上やイメージアップを図ります。</p> <p>プロモーションの旗印であるイメージロゴ「福いいネ！」を活用して、市民や民間等と一体となって、あらゆる機会を通じて福井の魅力を発信していきます。</p> <div data-bbox="252 636 1254 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤2 福井駅の年間乗降者人員：705 万人（4 年度）（見込み）→763 万人                      インスタグラムでの「#福いいネ」投稿件数（累計数）：                      41,579 件（4 年度）→55,000 件                      福いいネ！くんの首都圏イベント等への参加件数：11 件（4 年度）→15 件</p> </div> <div data-bbox="252 846 655 1137" style="text-align: center;">  </div> <p>テレビ埼玉での福いいネ！くん生出演の様子</p>	<div data-bbox="1302 412 1442 546" style="text-align: center;">  </div>
<p><b>16 市民等の機運醸成の促進</b></p> <p>北陸新幹線福井開業を広く周知し市内全体での機運醸成を図るため、節目ごとに実施するカウントダウンイベントのほか、市民参加型の各種イベントなど様々な機会をとらえて積極的なPRに努めます。</p> <p>市民をはじめ関係団体が一体となって、来訪者を温かくお迎えする「おもてなしプレイヤー」の育成や支援に取り組みます。</p> <div data-bbox="252 1536 1254 1639" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>福いいネ！くんの市内イベント等への参加件数：36 件（4 年度）→50 件                      おもてなしプレイヤー育成事業参加者数：174 人（4 年度）→250 人</p> </div> <div data-bbox="261 1655 660 1948" style="text-align: center;">  </div> <p>開業1年前イベント「福いいネ！北陸新幹線ウェルカムフェスタ」の様子</p>	<div data-bbox="1302 1308 1442 1442" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1302 1458 1442 1592" style="text-align: center;">  </div>

組織目標Ⅹ(Ⅳ) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>17 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現</b></p> <p>女性がいきいきと活躍できる社会の実現のため、企業向けには、WEB 診断システム「Fukurea (フクリエ)」(※1) の活用に加え、男性の育児休業取得を進めるなどのワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、女性があらゆる分野でリーダー的役割を果たし、活躍できる機会の拡大を目指します。</p> <p>さらには、家庭における男性の家事・育児への参画を促し、女性の負担軽減を図るとともに、男女双方の意見が取り入れられた地域活動等になるよう、地域での男女共同参画意識を醸成します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>②0 女性活躍などの取組が可視化できる WEB 診断システム「Fukurea」の導入企業数(累計) : 92社(4年度) → 115社(5年度)</p> <p>②1 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合(※2) : 34.4%(4年度) → 40.5%(5年度)</p> </div> <p>※1 女性活躍やワーク・ライフ・バランスなど、企業が自社の強み弱みを可視化できる本市独自の WEB 診断システム</p> <p>※2 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合 (市の審議会・委員会等委員の女性委員数/総委員数) 令和4年度実績 : 768人/2,230人</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>企業の人事担当及び女性を対象としたセミナーの様子</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>8 働きがいも経済成長も</p> 

## 18 若者の結婚への意識向上

若者の未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、誠実に結婚を希望する男女を対象に、様々な結婚支援を実施していきます。

ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」(※1)と連携し、身だしなみやコミュニケーション等の学びと出会いの場を提供する「婚活スクール」を開校します。

また、20代の社会人向けに、結婚・子育てなど様々な将来を描く未来デザイン講座を開催し、若者が結婚に前向きなイメージが持てる意識を醸成します。

これらの取組を通じ、男女の結婚意識を高め、出会いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行うことで、より多くの若者の結婚が叶えられるよう後押しします。

結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合(※2)  
: 90.0%以上

※1 マッチングシステムを活用した出会いの場の提供や結婚に関する情報発信など県と全市町で構成する公的な結婚支援センター

※2 結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合  
(参加者アンケートで結婚意識・意欲が高まったと回答した人数/回答者数)  
令和4年度実績: 310人/323人≒96.0%



結婚応援マガジン「教えて!結婚とは。」より  
(発行: 福井市女性活躍促進課)

